

## 1. 諸会議の開催

### (1) 理事会

開催日	名 称	議 題
2018. 5. 28	2018 年度第 1 回理事会	1) 第 1 号議案 2017 年度 事業報告 (案) および計算書類、附属明細書、財産目録の承認 2) 第 2 号議案 国債 (基本財産) の償還後の処理について 3) 第 3 号議案 監事監査規程 (案) の承認 4) 第 4 号議案 評議員選任・解任委員の選任と評議員選任 候補者の推薦および評議員選任・解任委員会の招集 5) 第 5 号議案 定時評議員会の招集
2018. 10. 22	2018 年度第 2 回理事会	1) 第 1 号議案 苦情処理規程設置について
2019. 3. 18	2018 年度第 3 回理事会	1) 第 1 号議案 定款改正について 2) 第 2 号議案 2019 年度事業計画 (案) について 3) 第 3 号議案 2019 年度予算 (案) について 4) 第 4 号議案 財政調整積立て資金及び周年記念事業 積立金取崩しについて

### (2) 評議員会

開催日	名 称	議 題
2018. 6. 16	2018 年度定時評議員会	1) 第 1 号議案 2017 年度 事業報告 (案) および計算書類、附属明細書、財産目録の承認 2) 第 2 号議案 国債 (基本財産) の償還後の処理に ついて 3) 第 3 号議案 監事監査規定 (案) の承認
2019. 3. 25	2018 年度第 2 回評議員会	1) 第 1 号議案 定款改正について 2) 第 2 号議案 2019 年度事業計画 (案) について 3) 第 3 号議案 2019 年度予算 (案) について 4) 第 4 号議案 財政調整積立て資金及び周年記念事業 積立金取崩しについて

### (3) 監査等

開催日	名 称	備 考
2018. 5. 11	2017 年度 決算監査	監事による決算のための監査
2019. 1. 16	平成 30 年度 社会福祉法人 一般検査	茨城県保健福祉部福祉指導課福祉監査室による監査

#### (4) 評議員選任・解任委員会

開催日	名 称	備 考
2018. 5. 28	第 4 回評議員選任・解任委員会	評議員辞任に伴う評議員の選任

## 2. 実施事業

### 1) 電話相談員の募集・養成及び研修

- (1) 第 34 期電話相談員養成講座受講生を募集し、13 名の受講生を決定し養成講座を開講した。
- (2) 第 33 期電話相談員の養成 2 年目の研修を修了し、新たに 10 名を電話相談員に認定した。
- (3) 継続研修としてグループ研修(8 回)・全体研修(2 回)を行い、研修・相互サポート・組織への理解を深めた。
- (4) 電話相談員認定 3 年目・5 年目の節目の研修・希望スーパービジョン・アドバンス研修等を実施した。
- (5) 研修スタッフの研修を継続的に実施した。
- (6) 研修スタッフ第 7 期養成講座を実施した。
- (7) 全国研修会・各種研修会などへ積極的に参加を図った。
- (8) 自殺予防対策と相談員募集周知のため、一般に向けて無料公開講座を開催した。  
2018 年 12 月 8 日(土)に茨城県立図書館視聴覚ホールにて第 1 回自殺予防公開講座「愛する人を失うということ、その再生」を講師：大西秀樹氏を迎えて開催した。  
参加者 165 名からは大変好評を得た。  
第 2 回公開講座は 2019 年 2 月 9 日(土)茨城県県南生涯学習センター多目的ホールにて、「つながりあう命ー死刑囚から学んだ生きる尊さー」を講師：田口ランディ氏を迎えて開催し、あいにくの降雪にもかかわらず 90 名が参加し、大変好評を得た。
- (9) 相談員募集のためのミニ傾聴講座「“聴く力”を高めるヒント」を、2018 年 4 月 7 日(土)つくば市春日交流センターにおいて講師に半田一郎氏を迎えて開催し、24 名が参加した。  
当日の参加者のうち 5 名が相談員養成講座に応募し、34 期生として現在研修中である。  
また 2019 年 3 月 30 日(土)守谷市中央公民館にて同ミニ傾聴講座を開催し、34 名の参加者を得た。

### 2) 調査・研究活動

2018 年(1~12 月)の統計資料を作成した。

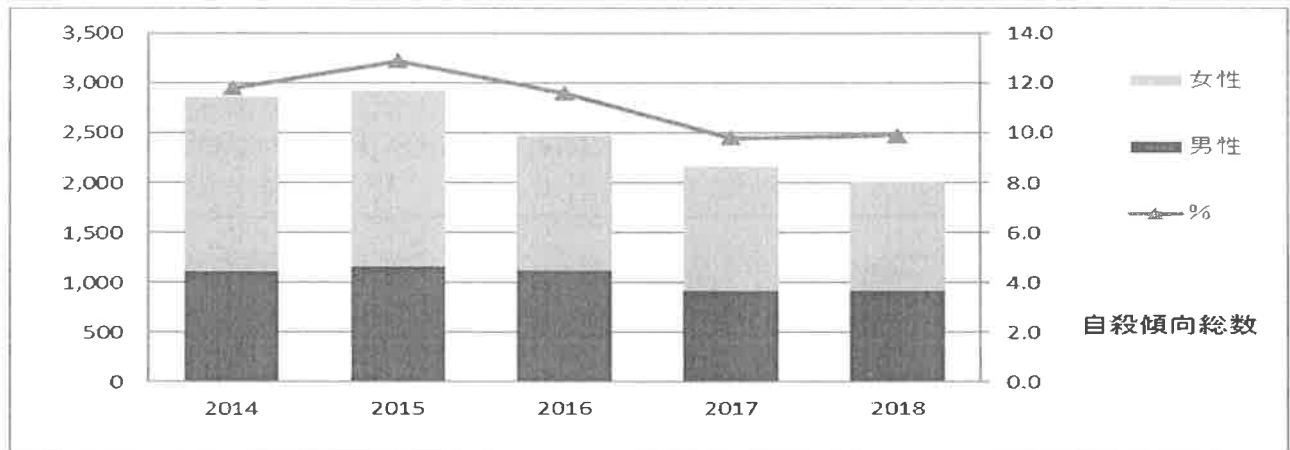
#### (1) 2018 年総受信件数と自殺傾向件数

	男性	女性	計
総受信件数	9,675	10,687	20,362
自殺傾向受信件数	912	1,100	2,012

総受信件数（FDを含む）の男女比は男性 47.5%、女性 52.5%である。  
全体の 9.9%が自殺傾向の電話である。  
(通常電話の 9.4%、FD 電話の 24.9%) (男性の 9.5% 女性の 10.3%)

(2) 自殺傾向受信件数の推移

年度	2014	2015	2016	2017	2018
男性	1,116	1,158	1,117	919	912
女性	1,751	1,771	1,358	1,250	1,100
%	11.8	12.9	11.6	9.8	9.9
男女計	2,867	2,929	2,475	2,169	2,012
総件数	24,215	22,739	21,293	22,154	20,362

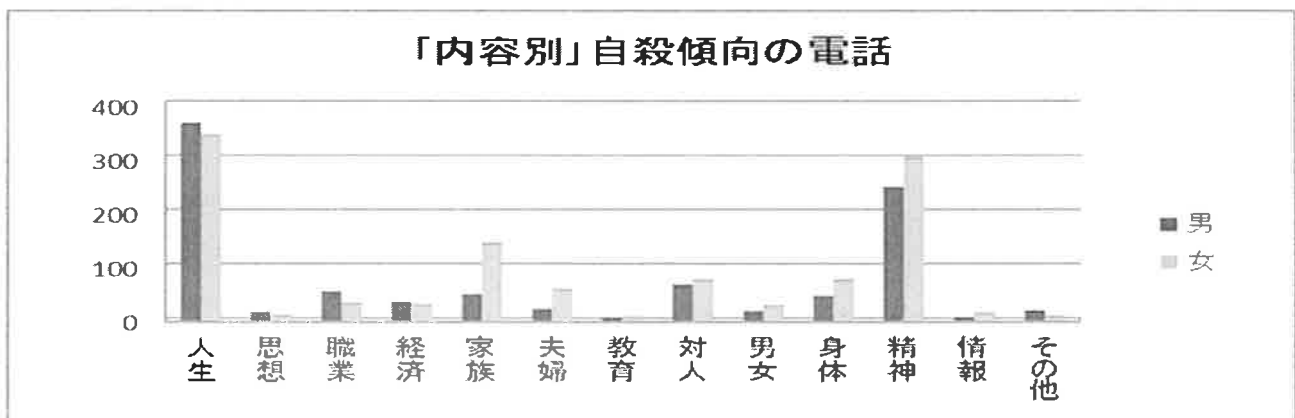


自殺傾向の電話の割合は2年続けて減少していたが、今年は横ばいである。女性の受信件数が減少してきて、総受信件数も減ってきている。総受信件数の減少は、相談員の減少も原因として考えられる。同一人物と思われる人が繰り返しかけてくる場合も見られる。

(3) 自殺傾向の内容

※「思想」は「人権」も含む

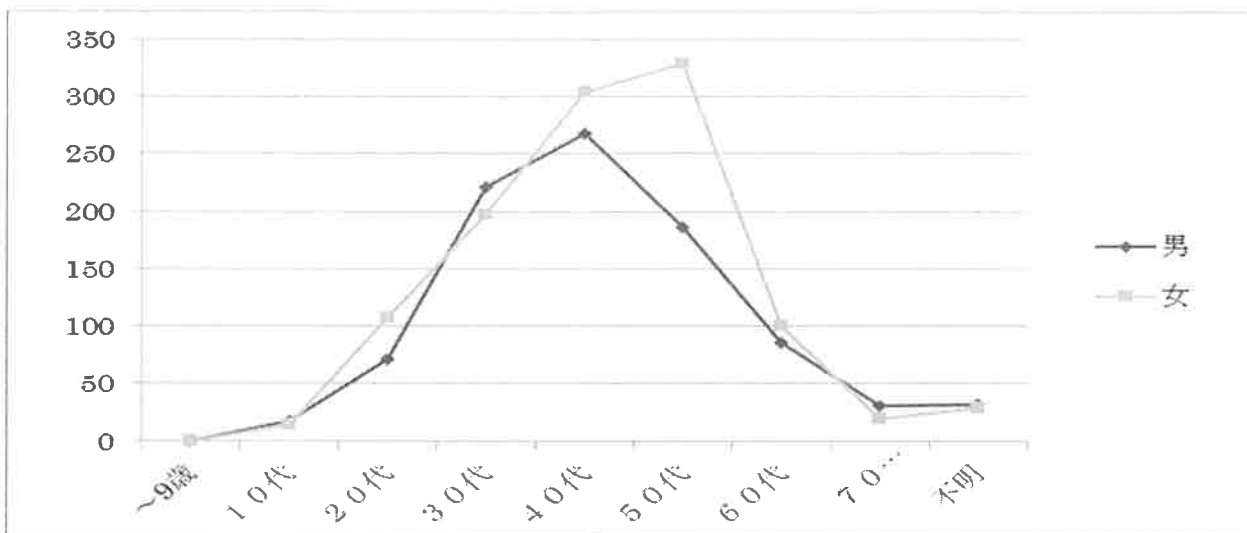
	人生	思想	職業	経済	家族	夫婦	教育	対人	男女	身体	精神	情報	その他	合計
男	362	14	51	33	46	19	2	64	15	43	244	3	16	912
女	340	8	30	28	141	56	5	74	26	74	299	13	6	1,100
合計	702	22	81	61	187	75	7	138	41	117	543	16	22	2,012



男女とも「人生」「精神」に集中している。「人生」34.9%「精神」27.0% その他 男性は「対人」「職業」、女性は「家族」「身体」「対人」に関する内容が多い。生きづらさや孤独、及び精神的疾患の苦しみに関する電話が多い。

#### (4) 年代別相談件数

	～9歳	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70歳～	不明	総計
男	0	17	71	221	268	186	86	31	32	912
女	0	14	107	198	304	329	100	19	29	1,100
総計	0	31	178	419	572	515	186	50	61	2,012



自殺傾向の相談者は、40代が一番多く全体の31.1%である。男性は40代・50代、女性は30代・40代・50代が多い。(かけての年齢は、相談員の推定によるものが多い。)

### 3) 広報活動

- (1) 機関紙（年3回）及び事業報告書を発行した。
- (2) マスコミや县市町村の広報部門へ情報を提供した。
- (3) ホームページで広報活動を行った。
- (4) ポスター（茨城いのちの電話・フリーダイヤル・相談員募集）を広報のために活用した。
- (5) 新聞社の取材を受け相談員募集の記事を掲載した。（茨城新聞社、読売新聞社）

### 3. 電話相談員の交流・親睦

- 1) 電話相談員の情報交換等のために、グループ連絡会を奇数月の第1土曜日に開催した。
- 2) 内部連絡紙を毎月1回発行した。
- 3) 地区別集会を開き、役員・相談員の交流を図った。
- 4) 相談員のリフレッシュのため、偕楽園において交流会を実施し、8名が参加した。
- 5) 相談員を相互にサポートする「ほっとスタッフ」活動を継続し、年間102回行った。
- 6) 相談員を相互にサポートのため、「わかちあいの会」を実施し、17名が参加した。

### 4. 財政基盤の確立

- 1) 財政の安定を図るために、後援会員の拡大をはかり、広く寄附金を募った。
- 2) 催事及びバザーを開催した。また後援依頼を受けて卓話活動を行い協力を求めた。
- 3) 手づくり会・常設バザー・アルミ缶回収・募金箱の設置等自助努力を積極的に行った。
- 4) 寄付金機能付き自動販売機システムを導入し、各企業の協力を得て同型機の設置を積極的に推進して寄付金を得た。

## 5. その他

- (1) 茨城県自殺対策連絡協議会に参加し、以下の3点を提言した。
  - ・研修・広報・学習等の徹底
  - ・公的な支援機関・支援関係者への施策と予算の拡充
  - ・支援機関との連携と活用
- (2) 日本いのちの電話連盟のモニタリング事業に参加し、2018年11月より2019年3月までモニタリング調査を行った。この結果を分析し、よりつながりやすい電話となるよう対策を講じる予定である。